2016年国民平和大行進

■メッセージ　「被爆71年、核兵器廃絶2016年平和行進」に参加される皆様を始め、関係者の方々の多大な御尽力に深く敬意を表します。我が国は、世界で唯一の被爆国であり、核兵器の廃絶と恒久平和を確立し、再び悲しみの歴史を繰り返すことのないようにすることは、私達に課せられた重大な責務であります。

葉山町では、非核三原則を堅持し恒久平和を願い、平成４年11月に**「葉山町非核平和都市宣言」**を行ないました。この宣言をもとに非核平和の重要性を町民と共に深く認識するとともに、核兵器廃絶への誓いを新たにしてまいります。また、葉山町では毎年未来を担う子どもたちへの啓発活動として、中学生を対象に**平和標語コンクール**を行なっており、昨年は66点の応募作品の中から**【心と心が手をとって　つながる僕らの平和の輪】**という標語が金賞を受賞しております。この標語が表わすように、戦争の悲惨な記録を風化させることなく、平和な未来の姿を後世へ受け継いでまいりたいと思います。

終わりに、この平和行進を通じて「平和」への厚い志の輪が広がることを期待すると共に、参加者皆様方のご無事とご健勝を心からお祈り申し上げまして、メッセージとさせていただきます。

平成28年5月15日　葉山町長　山梨　崇仁

PEACE WAVE　平和の波　No.123
原水爆禁止逗子市協議会ニュース　2016年5月発行　連絡先　逗子市逗子5-8-21　TEL873-0739　FAX871-7969

■メッセージ　「核兵器廃絶2016年平和行進」らご参加の皆様に心から敬意を表します。広島・長崎に原子爆弾が投下されてから71年が経過する今日も依然として、世界各地では紛争が絶えず、人々は未だに核兵器の危機にさらされています。

昨年5月、ニューヨークで核兵器不拡散条約（ＮＰＴ）再検討会議が開催されました。本市も加盟する平和首長会議を代表し、広島市長と長崎市長が出席し、国連、各国政府関係者等に2020年までの核兵器廃絶の実現に向けた前進を強く訴えました。

平成16年4月に**「逗子市非核平和都市宣言」**を行なった本市においても、平成8年から若い世代が戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを学び語り継いで行くことを目的に継続している「逗子市ピースメッセンジャー派遣事業」では、今年度も中学2年生20名を広島市へ派遣します。また、市民の活発な非核平和推進活動促進のため、平成17年から逗子被爆者の会との共催で**「原爆と人間展」**を、平成23年からは市民団体が中心となって企画・運営する**「ずし平和デー」**を共催するど、核兵器廃絶と世界の恒久平和を願う自治体として、様々な取り組み、活動を行なっています。今後も、平和な社会の実現について考えていただける機会を設けるとともに、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、この「核兵器廃絶2016年平和行進」のご無事と皆様のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

2016年5月15日　　逗子市長　平井　竜一